

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2012年4月1日～2025年11月30日に当院にて、胸腺上皮性腫瘍に対して切除術を受けた方					
② 研究課題名	腫瘍径5cm以下で隣接臓器合併切除を施行した胸腺上皮性腫瘍の臨床的特徴					
③ 実施予定期間	2025年12月～2026年12月					
④ 実施機関	独立行政法人国立病院機構 呉医療センター					
⑤ 研究代表者	氏名	三村 剛史	所属	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科		
⑥ 当院の研究責任者	氏名	三村 剛史	所属	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科		
⑦ 使用する試料	<p>収集する診療情報は下記の通りです。</p> <p>年齢、性別、喫煙歴、身長、体重、併存疾患、術前CTにおける腫瘍径、肺気腫性変化(Goddard score)、術前PET-CTのSUVmax値、術前呼吸機能、臨床病期、術式、手術時間、出血量、術後合併症、ドレーン留置期間、組織型、病理病期、再発の有無、無再発生存期間、全生存期間、死因。</p> <p>※上記診療情報は、研究終了後まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。</p> <p>診療情報は研究者によって保管されます。</p> <p>※当院の研究者が収集した情報を取り扱います。</p>					
⑧ 目的	<p>胸腺上皮性腫瘍においては、腫瘍径が小さくても隣接臓器(心膜や肺など)への進展により合併切除を要する症例が存在します。本研究ではCT腫瘍径5cm以下の手術例に着目し、</p> <p>1. 隣接臓器合併切除を施行した症例の臨床的特徴を明らかにすること、</p> <p>2. 隣接臓器合併切除の要否に関連する術前因子(とくにFDG-PETにおけるSUVmax)を探索し評価すること、</p> <p>3. SUVmax値と術後病理診断(胸腺腫／胸腺癌、病理学的浸潤の有無)との関連を検証すること、</p> <p>を目的とします。得られた知見を、小径胸腺上皮性腫瘍に対する術式立案(切除範囲・再建・手術アプローチ)やインフォームドコンセントの質向上に資する実務的指標へ還元します。</p>					
⑨ 方法	<p>①に記載した対象患者さんのうち、⑦に記載している診療情報をもとにデータ解析を行います。</p> <p>術前CT・PET-CTおよび術前の諸検査と、手術記録、病理病期を使用し、胸腺上皮性腫瘍切除における隣接臓器合併切除・隣接臓器浸潤と術前因子との関係を調べます。</p>					
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025年12月22日			
	院長承認日		2025年12月22日			
⑪公表	個人情報は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。					
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。					
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。					
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。					
⑮問い合わせ	連絡先	三村剛史	電話	0823-22-3111(代表)		
	国立病院機構 呉医療センター 呼吸器外科					

呉医療センター院長